



国際研究集会 2016

異文化間教育の文脈化をめぐって

日程：2016年3月29日（火）

場所：京都大学人間・環境学研究科地下講義室

会費：500円（資料，フランス語同時通訳イヤホン代）

プログラム 日仏同時通訳付き

9:30 受付

10:00 - 10:15 開会挨拶と趣旨説明 西山教行

10:15 - 11:00 **講演1** ジョルジュ・リュディ（バーゼル大学，スイス）
「学校での学習の目的として，また企業社会における多様性を管理する対象としての複言語・異文化間能力について」

指定討論者 西村淳子

11:00 - 13:00

シンポジウム1 『異文化間教育とは何か』を読む，編者との対話

報告者 安達理恵 「小学校での異文化間能力育成の必要性和CLIL」

仲 潔 「〈ことばと文化の学び〉の回顧録—異文化教育は誰のためか—」

中川慎二 「政治教育の視点からシティズンシップ教育を考える」

編者 西山教行 細川英雄 大木 充

司会：長野 督

昼食（13：00-14：00）

14:00 - 14:45 **講演2** サミール・マルズキー（マヌーバ大学，チュニジア）
「異文化間文学としての、フランス語表現マグレブ文学」

指定討論者 ジャン＝フランソワ・グラヴィアニ

休憩（14：45-15：15）

15:15 – 16:00 **講演 3** 生田周二

「日本の人権教育への一視角—日本的性格をめぐって—」

指定討論者 **マリー＝フランソワーズ・パンジェ**

16:00 – 18:00

シンポジウム 2 異文化間教育の文脈化をめぐって

パネリスト

山本志都 「異文化感受性から見た日本における異文化間能力」

伊藤亜希子 「ドイツにおける異文化間教育の方向性—政策と理論から—」

齋藤里美 「多民族社会・移民社会における異文化間教育—シンガポールの社会科教材から考える—」

スティーブ・コルベユ 「ケベックと日本における間文化教育の課題—言語，文化，宗教—」

指定討論者：**ジョルジュ・リュディ** **サミール・マルズキー**

司会：**大木 充**

18:00 閉会挨拶 **大木 充**

18:30 懇親会（3000 円 要予約・当日キャンセル不可）

研究集会と懇親会の申込（締切 3 月 24 日）：

<http://web.sfc.keio.ac.jp/~kr/kyoto2016/>

主催：京都大学人間・環境学研究科西山教行研究室，日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 B「異文化間能力養成のための教材と評価基準の開発およびその有効性の検証」（代表大木 充）

後援：日本フランス語教育学会，日本言語政策学会

